

【2021年度第2四半期決算 補足説明資料】

1. 2021年度第2四半期決算

< P 4 ~ 1 1 >

- 売上高は、ガス販売量が増加したものの、ガス販売単価の低下等により、2期連続の減収となりました。
- 営業利益は3期ぶりの減益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は3期連続の増益となりました。売上高の減収、新会計基準の適用および販管費の増加等により、営業利益は減益となりました。一方、営業外収益（持分法による投資利益）の増加等により、経常利益は増益、特別利益の計上により親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となりました。
- 2021年度通期は、前期実績に比べ、増収・増益を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益については、特別利益の計上額の減少により、減益を見込んでおります。
- 2021年度の株主さまへの配当は、年間10円を予定しております。

2. 中期経営計画

< P 1 2 ~ 1 3 >

- 3年間のガス需給計画では、大口需要家へのガス供給量の減少等により、年平均4.5%減少の見込みです。燃料転換などの新規開発、原単位向上に向けた新たな取り組み等により、販売量増加を目指します。
- 設備投資計画については、ガス事業では、天然ガスの普及拡大と供給安定性向上を目的とした幹線投資、その他事業の成長に資する新規事業投資等、LPG事業では、コミュニティーガス団地における経年劣化した導管をPE管等、耐震性の高い導管への取替促進など、保安対策を実施してまいります。

3. 「2050年カーボンニュートラル」への取り組み

< P 14 ~ 24 >

- 当社グループでは、昨今の地球温暖化対策への社会的要請の高まりを受け、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた中長期的な方向性や取り組みを示す「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を策定しました。
- これまでも環境負荷低減に向けて、様々なESG関連事業の取り組みを進めており、今後はこれまでの取り組みを一層深化・加速させ、グループ一丸となって、SDGsの達成、さらにその先の、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて挑戦していきます。
- 今後も、当社グループは、エネルギー業界を始めとした業界団体、メーカーなどの関連企業、行政も含め、幅広く連携していくことで、2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みを推進してまいります。
- 当社グループ役職員が一丸となり、2050年カーボンニュートラルの実現、そして「このまち」のさらなる発展に貢献してまいります。

4. トピックス

< P 26 >

- 当社は、今後もガス事業におけるスマート保安をDX推進の重点分野に位置づけ、5G、AI、ロボットなどの先進テクノロジーを活用した安心安全な保安業務の実現に向け、積極的に取り組んでまいります。

< P 29 >

- 当社スキー部所属でスノーボードアルペンの竹内 智香 選手は、現在、世界を舞台とする競技大会での活躍に向けて、スイスを拠点に活動を行っております。
- 挑戦し続けるアスリートの姿から、前へと向かう活力をお届けできるのではと期待を込めております。皆さまの応援、よろしくお願いいたします。

以 上